

桜のきせき



令和3年4月21日

No.3

文責：校長 稲葉裕美

2学年ずつ3日間にわたり、授業参観を実施しました。

「参加は2名まで」「参観中の会話はご遠慮ください」とのお願いに、ご協力いただきありがとうございました。

長崎県内・佐世保市内で、新型コロナウイルス感染が再び広まりつつあります。昨年度はできなかった行事を、今年度は感染予防対策を行いながら実施可能なものは、実施していきたいと考えてはいますが、感染の広がり具合を考慮して、急な中止等の可能性がありますことをご理解いただければと思います。

また、行事の実施につきましては、保護者の皆様のご理解とご協力が必要となります。今後とも、よりよい教育活動のため、お力添えをお願いいたします。

〇避難訓練をしました

給食室からの火災発生という想定で、避難訓練をしました。

避難経路を確認しながら、運動場へ集合します。全校で集まるのは初めてのことでした。

訓練後の事後指導として次のことを話しました。

今日の避難訓練は、皆さん全員の命を守るための訓練でした。学校で、火災がおきたとき、どうするかということを考えてみました。

2つお話しします。

1つ目は

「命の守り方を知り、行動してみること」

自分の命を守るために、逃げなければいけないことは、いくつか考えられますが、どれも、「明日は避難しなければならぬ大変なことが起こりますよ」とわかっていて起きるわけではありません。

急に、思いがけず、起こることがほとんどです。

そんなときに、自分の命を守るためにどう動くかを知っておくことが大事です。そして、その場面を思い浮かべて、実際に動いてみることを命を守ることに繋がります。

「命の守り方を知り」「実際にやってみること」今日一番大事なことでした。できていたか、振り返ってください。

2つ目です。

「集団で動くときは、無言で動くこと」

避難訓練の時だけでは身に付きません。普段から、指示をしっかりと聞きどう動くか考え、行動できる力を身に付けましょう。指示を聞き取るためには、静かに行動できなければなりませんね。

今日は給食室から火災が起きたということで訓練をしました。でも、本当に火事が起こったら、煙がきて通れない階段があるかもしれません。

そんなとき、「逃げ方が変わった」という指示があっても聞いていなければ、命を守ることはできません。

日頃の生活の中から、命を守る行動は身に付きます。

今日の移動の仕方はどうでしたか。このことも学級でしっかり振り返りましょう。

避難訓練も学習です。やったらおしまいではなく、振り返りが大事です。

避難訓練中の子どもたちはおおむね、黙ってすばやく動いていました。少しおしゃべりを我慢できなかった人もいました。各クラスで振り返りをしているので、次の活動へと生かしていけると思います。

「輝く春日っ子」 ※敬称略

○KTN 杯ハンドボール選手権大会

- ・春日ハンドボールクラブ
小学生女子の部第二位
小学生男子の部第三位

○拳城館選手権大会

- ・春日支部 A 小学生団体形 敢闘賞
- ・春日支部 A
小学生団体組手（4～6 年生）敢闘賞
- ・5 年児童
個人形 白帯（小学 4 年生以上）
敢闘賞

※学校便りは学校ホームページにも掲載しております。児童名と写真は個人の情報となるため、ホームページ掲載分の学校便りには載せませんので、御了承ください。